

本郷 図書だより

第124号 2025.03.01

本郷公民館発行

図書委員会編集

電話 46-1500

◆◆図書委員会文化講演会◆◆

〓 浅間温泉よもやま話 パートⅡ

二月十八日、肌寒い中でしたが、十五名の方に参加していただきました。



「梅花和雪香」

禅語で雪や寒さに耐えて香る梅の花。凜とした美しさとその忍耐を讃えた賛辞の言葉のお軸と、そばにロウバイ。一足早く春を感じます。

最初に、和菓子とお抹茶で気楽に一服を楽しんでいただき「講演会」というと少々堅苦しく感じる人もいます。最初にお抹茶を味わって、一息ついてからお話を聞いてもらいたいとの趣向です。なので、お作法などありません。皆さんリラックス出来ました。



講師の山本勝雄さん

講師は、当委員会委員長の山本勝雄です。大変幅広い知識と経験に基づくたくさんさんのエピソードをお持ちです。

今回は浅間の芸者衆の話や昔の浅間温泉の行事、縁があった人など多岐にわたるお話をしていただきました。

山本委員長所蔵の懐かしい写真とその時代の昔話に皆さんとても興味深くお聞きしていました。

参加した方からは、「写真を見て昔の事を思い出し、懐かしくなりました」「NHK大河だ

ラマの「べらぼう」から吉原と芸者の関わりなどを大変楽しく聞きました」などたくさんのご感想をいただきました。ありがとうございました。

何度も参加していただいている人も今回が初めての人も楽しい時間が過ごせていたら幸いです。

新村扶美代（図書委員）



本との出会い

私の本との出会いは、保育園時代に始まります。

家庭用に配布される月刊誌を家に持ち帰り、毎月色々な絵本（おはなし）と出会いました。毎月どのような絵本がもらえるのか、とても楽しみだったことを今でも覚えています。

次に小学生になると、学校図書館で直接書架の本を手にして選ぶ楽しさを知り、色々な本を家に持ち帰ったものです。

当時よく読んでおり、今でもたまに読み返す本に『ボタン星からの贈り物』があります。これは、ショートショート（短編

小説よりもさらに短い超短編小説）で人気の星新一さんの作品になります。

倒産寸前の会社の立て直しを助けてくれる便利な装置の指示書。指示書通りに商品を作ることのよって会社は助かっているのですが、よく考えずに安易に装置を作り続けたことにより……。

こちらの本は、本郷図書館に所蔵していますので、機会があれば手に取っていただけたらと思います。

岩波 理恵（本郷図書館司書）



やまぼうし

『たかが笑い』と鼻で笑って見過ごせない」という記事を見ました。

ほとんど笑わない高齢者は、ほぼ毎日笑う人に比べて要介護認定を受けるリスクが一・四倍も高いようです。

笑いと健康との間に関連があるということはよく聞きま

す。

私の趣味は腹話術で、相棒の「春ばあちゃん」に健康の秘訣を聞くと「笑うことと歌うこと」だと答えます。

「笑うとナチュラルキラー細胞が増えて、とても元気になれるのよ。だからおかしくなくてもハッハッハッと大声で笑って笑顔でね」

〓 長寿大國長野県 女性も男性も長生きよ ストレスためずに生き生きと あなたも私も日本一（もしもしカメよカメさんよの替え歌で）〓
笑って笑ってイキイキ人生
過ごしましょう。

久保田美春（図書委員）

テラスの風

蠟梅（ロウバイ）開花のニュースにふれると春が近いなと感じますね。夕暮れの時間も長くなってきました。遠くに見える北アルプスの山並みはまだ白いですが、徐々に季節は進んでいます。

新村扶美代（図書委員）





2025 年 春号

本郷図書館だより



春 新たなスタートの季節です♪

進級・進学・就職等、新しい環境や状況になる方も多いのでは？

悩んだり迷ったりすることがあれば、ぜひ図書館へ。

いろいろと調べたり、ほっと一息ついたりができる場所です。



1人10点(冊)まで借りられます(CD・DVDは、内5点まで)。

2週間借りられます。

パスワード登録をすると、ご自身で資料の予約ができるようになります。

松本市内の図書館(中央・分館・SP)で借りた資料は、別の図書館でも返却できます。

図書館を、ぜひご利用ください♪

あたらしくはいった絵本

『どうぶつポーズ で あそボウサイ』

作・絵 かなざわ まゆこ

監修 こが りょうこ



じしんのときにじぶんのいのちをまもれる、
<どうぶつポーズ>をれんしゅうする本。
自分のいのちを守る<6つのポーズ>が楽しく
身につく防災士監修による絵本です。

小さい子向けおはなし会

毎月第2水曜日 10時45分から
浅間児童センター内で絵本の読み聞かせや、
手遊びなどをします。お気軽にどうぞ!

第172回 芥川賞・直木賞 受賞作紹介

芥川賞 ダブル受賞!

安堂ホセさん 『D'TOPIA』



鈴木結生さん 『ゲートはすべてを言った』

直木賞

伊与原新さん 『藍を継ぐ海』

